

令和2年度 中学部の経営

(1) 学部経営の基本

- ア めざす姿 「仲間と一緒に、最後まで取り組むことができる生徒」
- イ 学部目標
- 【いきいき】 進んで活動し、最後まで取り組むことができる意欲や態度を育てる。
  - 【なかよく】 自分の思いを伝える力を育てる。  
まわりの人との適切な関わり方を身につけ、安定した人間関係を築く。
  - 【すこやか】 健康の維持・増進と体力の向上を図る。

(2) 本年度の取組

	取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標
安全	生徒が安全で安心して生活し、活動できる環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教室の安全点検を定期的実施し、安全な環境を整える。</li> <li>・生徒の健康管理について、学園との情報共有の場を設定し、指導を進める。</li> </ul>	各教室の安全点検 月1回実施 学園との毎朝の情報共有
	生徒の人権に配慮した環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が自分のよさや、友達のよさを発表する場を設ける。</li> <li>・「すんえん3か条」について、振り返る場を設ける。</li> </ul>	週1回(いいところ探しの実践) 全校集会 月1回
授業	生徒一人一人に応じた確かな成長・発達を支える授業づくりの推進	生徒一人一人の卒業後の社会生活に必要な力を身につける観点から「個別の教育支援計画」、 「個別の指導計画」を作成し、目標や支援等の共通理解を図る。	個別の指導計画の検討と確認 学期2回
		生活単元学習では、「主体的に学習に取り組む態度」「思考・判断・表現」「知識・技能」の3観点により、目標や内容の検討、評価・改善を行う。 また、各教科の見方・考え方の内容を確認する。	校内授業研 年2回
	仲間との協働学習を目指した指導の実践	地域や学園の方に向けた発表会の計画、準備をする授業を行う。	授業計画の検討 学部会
連携	地域とつながる学習の実施	地域の人との交流や地域の資源を活用した授業を行う。 (お茶、葛布織り、地域の資材を使った製品作り等を扱う。)	年3回
	地域にある特別支援学級とつながる交流会の実施	五校交流会に参加するための授業を行い、計画や準備を行う。	五校交流会 年1回
	生徒の将来を見据えた指導を行うための学園・関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校での生徒の目標や生活の様子、学園での生活や目標について、学園職員と情報共有を行う。</li> <li>・学園職員、児童相談所、市町の福祉課等と、生徒の学校での様子や現在の生徒を取り巻く状況について情報共有し、卒業後の進路決定に向けて連携を図る。</li> <li>・必要に応じて移行支援会議を行う。</li> </ul>	指導連絡会 各生徒 年1回  個別支援会議 年2回  移行支援会議 適宜